

2022年度 日本工学院専門学校											
声優・演劇科											
ワークショップⅡ											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	40	単位	1
担当教員	深水みゆき			実務経験	有	職種	俳優 ヴォイストレーナー				
担当教員紹介											
『劇団四季』出身。退団後フリーの役者として多数の舞台に出演。現在は、後進の指導と共にコンサート活動も行っている。 プロ・フィット声優養成所、劇団鳥獣戯画 講師。											
授業概要											
・声の出る仕組みを理解し、「俳優に必要な技術」の三大基礎（発声・発音・活舌）を訓練する。 ・「継続は力」を実践し、身体で感じ学ぶ。 ・俳優として「言葉」とは何かを考え、他者に「言葉」を使って意思や気持ちを伝える「喋り」を追求する。											
到達目標											
・聞きやすい声・喋りを身につける。 ・繰り返し練習することの大切さを実感する。 ・「言葉」を調べ理解し、文章を丁寧に読む習慣を身につける。											
授業方法											
・ストレッチ・腹式呼吸・口形・舌の筋トレ等を知識として身につけるのではなく、身体で習得できるよう、毎回繰り返し練習する。 ・テキストを使い、かつぜつ・無声化・鼻濁・長音・促音・連母音などの基礎を練習する。											
成績評価方法											
試験・課題	60%	課題、発表の成果で判断する。									
平常点	40%	授業への参加態度、課題への散組み方などから総合的に判断する。									
履修上の注意											
・声のトレーニングであるヴォイトレ。毎週の授業だけではなく毎日の積み重ねが大切だと理解し、日常でも「お腹の声」を意識して話す、などの工夫を希望します。 ・コロナ禍での授業なので、マスク・フェイスシールドの着用をお願いします。											
教科書教材											
適宜、配布。											
回数	授業計画										
第1回	前期の取戻し発声・発音・活舌の見直しを考慮しての、基礎練習。										
第2回	基礎練習課題「外郎壳」 構成と意味を考える。□										
第3回	基礎練習 課題「外郎壳」 自分の言葉として喋る。										
第4回	基礎練習 課題「外郎壳」 早口言葉のチェック										
第5回	基礎練習 課題「外郎壳」 登場人物として即興芝居を入れてみる。										

2022年度 日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
ワークショップⅡ	
第6回	基礎練習課題「外郎売」 外郎を飲む実感を持って演じてみる。
第7回	基礎練習課題「外郎売」 3人のグループで「外郎売」を構成してみる。
第8回	基礎練習課題「外郎売」 3人のグループで「外郎売」を完成させる。
第9回	課題発表 「外郎売」 リハーサル
第10回	課題発表 「外郎売」 本番